

# これがブラック企業

## 長時間過密労働

希望退職、そして不当な整理解雇。その後も相次ぐ社員の流出。大幅な人員不足に陥った JAL の客室乗務員。会社は 1000 名を超える新人を採用するも、職場の稼働は上がるばかり。その結果、3 月には、年間乗務時間制限に迫る乗務員が次々と。

乗務時間制限は、疲労の蓄積など安全を考慮して定められたもの。まさに長時間過密労働の実態が表れています。

## パワハラ面談は違法

長時間の面談でパワハラの退職強要を受けた契約制客室乗務員。東京地裁も高裁も「パワハラ面談」を違法として慰謝料を支払えとの判決を下しています。

以下判決文より、管理職の「暴言」を紹介します。

- 「もう飛ばないでお辞めいだいて良かったんですよ」
- 「飛びたいからしがみついているだけ」「いつまでしがみついてもいいの」
- 「もう猶予はないの」「懲戒免職になった方がいいんですか」
- 「若年性痴ほう症じゃないかと疑うくらい、物事を覚えていないんだから」

# JALだ!!

**これが「ブラック企業」だ!**  
 労働相談を行うNPO法人「POSSE」が指摘する特徴

**社員を使い捨て**  
 長時間労働や過剰なノルマで、社員を徹底的に働かせる

**残業代を払わない**  
 タイムカードを改ざんするなど、賃金を法律通りに払わない

**採用後に社員を選別**  
 新入社員を大量に採用し、必要な人を残して辞めさせる

**ハラスメントが横行**  
 セクハラやパワハラがあっても、上司が放置

**「自己都合」の退職に追い込む**  
 リストラ対象の社員にパワハラを行い、自主退職させる

The Asahi Shimbun

2013年5月23日付「朝日新聞」

## 日々サービス残業

出発時刻 1 時間半前出社。室乗務員の職場では、乗務開始までに必要な時間を定め、出社時刻(勤務開始時刻)をこうした形で指示します。しかし、会社が定めた時間では、出発準備ができません。結果、毎日毎日、勤務開始時刻以前のサービス残業がつきもので

## 乗務外して退職強要

希望退職募集の際、空白の勤務表を配り乗務はずし。そして、面談と称して退職勧奨。

整理解雇の前段で違法な退職強要が、客室乗務員やパイロットに対して行われました。また労組が、整理解雇の中止を求めてスト権投票を始めると、脅しをかけて不当介入をするなど、異常な対応が続けられました。

**裁判** 客室乗務員…9月12日(木)10:00~16:30 101号法廷  
 パイロット……9月26日(木)午前・午後 101号法廷

**みんなで成功させよう!**

**10月25日 勝利に向けて大集会「10.25勝利への決意!」**

**18:00開場 18:30開演 文京シビックホール**